

活動日	時間	天候	記録者
2018年6月14日(木)	9:30~12:00	(晴)	(菅田)
2018年6月23日(土)	9:30~12:00 (特別活動日)	(小雨)	
2018年6月27日(水)	9:30~12:00 (午後から総会開催)	(晴)	
参加者氏名 (7名+6名+17名)	(6月14日) 松本治美、山田喜義、米倉 進、菅田忠志、塩ノ谷年子、田路義弘、丸井宣夫、 (6月23日) 小林澄夫、松本治美、山田喜義、米倉 進、菅田忠志、 田路義弘 (6月27日) 松本治美、山田喜義、菅田忠志、塩ノ谷年子、田路義弘、丸井宣夫 小林澄夫、 木田育義、小泉 宏、俵貴志子、坪井幸子、橋野敏子、水島康夫、南木久枝、 片岡睦夫、磯野彰夫、井口久美子		
今月実施した作業内容	1. カブトムシ成育観察小屋の残作業(天井部の網掛け)の実施。 2. 倉庫前幼虫生育場所の上面金網追加。 3. カシナガホイホイの追加巻付け		

写真説明

(6月14日)



天井部を残して半完成していた観察小屋も、幼虫の羽化期を迎え、飛散防止のため天井部の網掛け作業を実施。木立ちのまま小屋内に残している枝分かれコナラの周辺部の巻付けが意外と手間がかかり、作業が進まない。蒸し暑さも加わって残る部分は次回に残すことに。

天井部の金網は、7月に実施する「親子観察会②成虫採集」後は、飛散防止の金網を外し、今度は、観察小屋内の腐葉土に産卵にやってくるメス親の為に開けておくこととしているが、今回の想像以上の手間を考えると、金網の材料仕様や構造的な検討が必要のようだ。



倉庫前の幼虫生育場所も羽化の時期に備え、上部の網掛けを行なう。

(6月23日)



残っていた天井部の網掛け作業を継続、小屋ほぼ中央部のコナラ立木周りを隙間を残さないように仕上げていく。



カブトムシは“力持ち” ちょっとした隙間を見つけて飛び出してしまうので入念な編み込みは欠かせない。



やっと作業は終了。

5月にこの観察小屋へ子どもたちに運んでもらった幼虫も、今頃はここの木砕腐葉土の中でさなぎになる準備をしている時期。

さわがせてごめんよ。あとはごゆっくり。



あとは、いつ羽化してもエサに困らないよう昆虫ゼリーを置く。



網の隙間から「ろばた焼き居酒屋」の要領で、板に乗せたえさカップをそっと奥の方にも置いていく。



2、3日後に確認したところ、カブトムシが食べる前にたくさんの蟻のエサになっていた。…あ～

(6月27日)



残っていたナラ枯れの心配のあるコナラに、購入したカシナガホイホイの巻付けを行なったが、時期的にギリギリか遅かったかわからない。晩夏の取り外し時に判断する。



倉庫前に積み上げていた小枝をチップ掛け、秋の産卵場所に向けた腐葉土づくり。

【朗報】



花実の森で見つかったコクワガタの成虫2匹。もしかして、今迄小さめの幼虫を【カナブン】と判断していたが、コクワガタの幼虫だったかも？今後は“別室”で育てていくことも考えたい。



観察小屋の入口扉の締め具合が不調だったので修正、施錠は三桁のシリンダー錠にしています。

暗証番号は「873」(ハナミ)です。